

町新人職員 & 町議会

平成27年1月および4月に町役場に入庁された警視庁からの派遣を含む新人職員6名の皆さんにお集まりいただき、お話を伺いました。

初任給は何に使いましたか？

「お花を買って、お墓参りに行きました」

Q 何故、公務員になろうと思ったのですか？

—以前、看護師として都内で勤務していて、病気の方々をたくさん見てきました。そんな時に自分の出身である瑞穂町で保健師の募集があり、これからは保健師として予防に努めたいと思ったからです。
—スーパーで働いていた時、高齢者の方や子育て中のお母さんから生活の不安など聞くことがよくあり、そうした方々の役に立ちたいと思い、公務員ならそれがで

きると思ったからです。

—学生の時は、金融関係を専攻していましたが、ボランティアを経験し、人のため、社会のために働きたいと思うようになり、選択しました。

—母親が公務員で、社会の制度に詳しく、また、家庭の事も両立していても尊敬しており、私も母のようになりたいからです。
—この町が好きだからです。

Q 子どもの頃の夢は？

—パン屋さん
—パティシエ
—看護師
—自衛官
—本屋さん
—警察官
—野球選手

Q 入庁して3カ月。今の心境は？

—まだまだ不安。
—毎日が必死。早く一人前になりたいです。
—まだパソコン処理になれなくて、事務処理に追われているって感じです。
—担当分野の専門的な言葉の意味が、少しずつわかるようになってきました。
—必要な知識が身についていく事がうれしい。
—覚える事がとても多い。
—先輩がとてもやさしく教えてくれて仕事に慣れてきました。

Q 瑞穂町をどんな町にしたいですか？

—たくさんの方がふれあえる町。
—誰もが楽しく元気に過ごせる町。
—健康寿命を延ばしたい。
—子ども達が外で楽しく遊べる、安全に暮らせる町。
—近所づきあいが良く、大人が子どもを見守れる町。
—税金を納めて良かったと思える町。

Q 初任給は何に使いましたか？

—家計に役立ててもらいました。
—お花を買ってお墓参りに行きました。
—父にジッポ、母に花を買ってあげました。
—家族と食事に行きました。
—母の誕生日プレゼント。

Q 町職員になってよかった事は？

—たくさんの方とふれあえる。
—介護保険制度など、他では学べないような事を学ぶことができる。
—一人に喜んでもらえたこと。
—住んでいてもよく知らなかった町の事がわかってきました。
—親を安心させることができました。
—警視庁から派遣され、町職員になってみて、警察を外から見ることができたこと。

Q 瑞穂町の印象は。瑞穂町を一言で言ったら？

—アットホームな町。
—意外と国際的。交流が盛んなのかなと思いました。
—地域のつながりが強い。
—のどかで緑が多い。朝、鳥の声が聞こえる。
—ほっとする町。
—基地のある町。
—町内会に誇りを持っている。

Q 議会や議員に対するイメージは？

—町の監視役。
—怖い人や堅い人ばかりと思っていました。
—町民が凝縮した人の集まり。
—行政と共に町を良くする存在。
—行政の独走を止める役割。
新人職員のみなさん
ご協力ありがとうございました。



左から 宮崎ゆり恵（高齢課） 山田 未羽（健康課） 鳥海 茂身（高齢課） 満利あやめ（住民課）
宮野 裕城（税務課） 平野 晴広（地域課：警視庁より派遣）

